

科目名	教員名
祭祀学 I	加茂 正典

免許・課程

教職課程

中学社会免許, 高校公民免許

資格課程

神職課程

開講詳細

開講キャンパス	開講時期	曜日	時限	開講学年	単位数
渋谷	集中	スプリングセッション	スプリングセッション	カリキュラムにより異なります	2

講義概要

授業のテーマ

天皇の即位儀礼 — 踐祚式(剣璽渡御儀礼)、即位式 —

授業の内容

天皇の即位儀礼は、平安前期(九世紀後半)に撰上された『(貞観)儀式』十巻に、儀式・祭儀次第が詳細に規定されています。先帝崩御の日または譲位を受けて、皇位の宝器である剣璽(けんじ)等を継承する踐祚(せんそ)式(剣璽渡御儀礼 けんじとぎよ)、日を改めて大極殿において挙行される即位式、そして、十一月下(しも)の卯日(うのひ)に斎行される大嘗祭(だいじょうさい・おほむべのみつり)より構成されます。これ以外にも即位に関する神事・仏事がありますが、中核となる儀式は、上に述べた踐祚式、即位式、大嘗祭である。本講では、『儀式』規定を基に、『延喜式』また、古記録をも勘案して、踐祚式(剣璽渡御)と、即位式を取り上げ、各儀の成立、その儀式次第とその意味を具体的に復元して講義します。さらに、各儀の歴史的変遷についても言及します。

到達目標

【知識・理解】

- 即位儀礼の内、剣璽渡御儀礼の成立と儀礼内容、そして、その意義を説明することができる。
- 即位儀礼の内、即位式の成立と儀礼内容、そして、その意義を説明することができる。
- 高御座(たかみくら)と袞冕十二章(こんべんじゅうにしょう)の形状とその由来を説明することができる。

【思考・判断】

- 即位式の世界観を理解して、即位式における唐文化の受容を説明することができる。

【関心・意欲】

- 本年に挙行されている皇位継承儀礼について、その歴史的経緯を学ぶことにより、更なる理解と関心を持つ。

授業計画

第 1 回	<p>講義内容と目的の説明。講義の前提となる、律令格式と『(貞観)儀式』について解説します。さらに、古代の即位儀礼について概観します。</p> <p>【準備学習 30分】</p> <p>⇒シラバスを読み、律令格式を事(辞)典などで確認しておく。</p>
第 2 回	<p>踐祚式(劍璽渡御儀礼)。三種の神器について、その起源説話と令制下における実態を説明します。</p> <p>【準備学習 30分】</p> <p>⇒三種の神器を事(辞)典などで調べておく。</p>
第 3 回	<p>踐祚式(劍璽渡御儀礼)の成立。</p> <p>【準備学習 30分】</p> <p>⇒踐祚(せんそ)の概念を事(辞)典で調べておく。</p>
第 4 回	<p>踐祚式(劍璽渡御儀礼)の儀式次第。『儀式』巻五「讓国儀」を基に、先帝が讓位した場合の、劍璽渡御儀礼を説明します。</p> <p>【準備学習 30分】</p> <p>⇒新帝に繼承される宝器のことを、事(辞)典などで調べておく。</p>
第 5 回	<p>劍璽渡御儀礼の儀式次第。『儀式』巻五「讓国儀」を基に、先帝が讓位した場合の、劍璽渡御儀礼を説明します。</p> <p>【準備学習 30分】</p> <p>⇒新帝に繼承される宝器のことを、事(辞)典などで調べておく。</p>
第 6 回	<p>即位式の成立。持統天皇 4(690)年正月 1 日の持統天皇即位式と、養老神祇令踐祚条規定を基に、中臣氏の天神寿詞(あまつかみのよごと)奏上と忌部氏の鏡劍奉上を説明します。</p> <p>【準備学習 30分】</p> <p>⇒『日本書紀』持統天皇 4(690)年正月 1 日条を確認しておく。</p>
第 7 回	<p>即位式の唐風化整備過程と儀式次第。奈良時代における即位式の唐風化と、『儀式』巻五「天皇即位儀」・巻六「元正朝賀儀」を基に、大極殿即位式の実態を説明します。</p> <p>【準備学習 30分】</p> <p>⇒平安時代の即位式を、事(辞)典などで、その概要を調べておく。</p>

<p>第 8 回</p>	<p>即位式の儀式次第。龍尾壇(りゅうびだん)上に建てられる銅烏幢(どううどう)以下の儀仗旗の説明を説明します。 【準備学習 30分】 ⇒平安京の朝堂院(八省院)を、事(辞)典などで調べておく。</p>
<p>第 9 回</p>	<p>即位式の儀式次第。天皇の玉座である高御座(たかみくら)を説明します。 【準備学習 30分】 ⇒高御座(たかみくら)を、事(辞)典などで調べておく。</p>
<p>第 10 回</p>	<p>即位式の儀式次第。天皇の礼服(らいふく)である袞冕十二章(こんべんじゅうにしょう)を説明します。 【準備学習 30分】 ⇒袞冕十二章(こんべんじゅうにしょう)を、事(辞)典などで調べておく。</p>
<p>第 11 回</p>	<p>即位式の儀式次第。天皇の礼服(らいふく)である袞冕十二章(こんべんじゅうにしょう)を説明します。 【準備学習 30分】 ⇒袞冕十二章(こんべんじゅうにしょう)を、事(辞)典などで調べておく。</p>
<p>第 12 回</p>	<p>即位式の儀式次第。高御座前に立つ奉翳女孺(ほうえいのによじゅ)の奉翳・伏翳作法と、即位宣命の内容を説明します。 【準備学習 30分】 ⇒即位宣命を、事(辞)典などで調べておく。</p>
<p>第 13 回</p>	<p>即位灌頂(そくいかんじょう)。即位式において実修された即位灌頂の実態とその思想を説明します。 【準備学習 30分】 ⇒灌頂(かんじょう)を、事(辞)典などで調べておく。</p>
<p>第 14 回</p>	<p>即位式における唐文化の受容と構造を説明します。さらに、近代における即位式の改変と、登極令(とうきょくれい)と御大礼(ごたいてん)の成立を説明します。 【準備学習 30分】 ⇒登極令(とうきょくれい)を、事(辞)典などで調べておく。</p>

第 15 回	講義内容の総括と講義目標への到達度の確認。 【準備学習 30分】 ⇒講義内容の復習と確認。
授業計画 の説明	

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業時間外の学習方法

受講に関するアドバイス

成績評価の方法・基準

評価方法	割合	評価基準
授業時試験	90%	講義主題である践祚式(剣璽渡御儀礼)と即位式について、その成立・儀式次第・意義が理解されているかを問う筆記試験をおこないます。
平常点	10%	出席が前提です。受講態度と講義に対する貢献度も加味します。

※すべての授業に出席することが原則であり、出席自体を加点の対象とすることはできません。

注意事項	
------	--

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

教科書・参考文献等

教科書

特に指定しません。参考資料は配付します。

参考文献

書名	著者名	出版社	備考
日本古代即位儀礼史の研究	加茂 正典	思文閣出版	